

報 告 書 抄 録

ふりがな	べつみょうてらだにいせき							
書名	別名寺谷遺跡							
副書名	新都市関連の別名地区墓地移転に伴う発掘調査							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第126集							
編著者名	藤村啓修							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-8511 愛媛県今治市別宮町一丁目4-1 TEL(0898)-32-5200(代)							
発行年月日	西暦 2015年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
べつみょうてらだにいせき 別名寺谷遺跡	いまぼりしべつみょう 今治市別名 811～815番地外	38202		34° 02' 38"	132° 58' 20"	20021017) 20030124	194.67 m ²	新都市開 連の別名 地区墓地 移転に伴 う発掘調 査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
別名寺谷遺跡	集落跡	弥生 古墳 古代 中世	溝状遺構 土坑 性格不明遺構 ピット 井戸遺構		弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 瓦器 瓦質土器 陶磁器 鉄製品 木製品		谷間地形の集落跡と 想定する。調査区内 に居住痕跡は薄いも のの土坑、溝、ピツ ト等が複数面で検出 された。	
要約	新都市開発に伴い別名地区の開発区域内に点在する墓地を整理移転する墓園の計画地が埋蔵文化財の包蔵地であった。発掘調査の結果、弥生時代後期、古代、中世の遺構が検出された。特にその中でもSE-01の井戸側は半分強が丸太刳貫き材、残り半分は5枚の板材を柄組して井戸側としたもので、このような井戸側の形状は類例を知らないものとして特記できる。時期は古代後期に構築、中世初頭頃に廃絶されたと考える。							